

災害時に運転者が執るべき措置について



災害が発生したら、もしもの時どうすべきか、普段から確認しておきましょう。

(1) 車を運転中の場合

- 急ハンドル、急ブレーキを避けるなど、できるだけ安全な方法により道路の左側に停止させること。
- 停止後は、カーラジオ等により地震情報や交通情報を聞き、その情報や周囲の状況に応じて行動すること。
- 引き続き運転する場合、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物等に十分注意すること。
- 車を置いて避難するときはできるだけ道路外の場所に車を移動しておくこと。やむを得ず道路上に置いて避難するときは、道路の左側に寄せて駐車し、エンジンを止め、キーは付けたままとするか車内のわかりやすい場所に置いておくこととし、窓を閉めドアはロックしないこと。駐車するときは避難する人の通行や災害応急対策の実施の妨げとなるような場所には駐車しないこと。

(2) 車を運転中以外の場合

- 津波から避難するためやむを得ない場合を除き、避難のために車を使用しないこと。
- 津波から避難するためやむを得ず車を使用するときは、道路の損壊、信号機の作動停止、道路上の障害物等に十分注意しながら運転すること。

津波から命を守るために

「令和6年能登半島地震」の発生から約1か月が経ちました。

ニュースを見ていると、石川県を襲った津波は速報された高さよりも高かった可能性が高いと言われていました。

今後、発生が懸念される南海トラフ地震などに備え、津波避難方法について日頃から考えておきましょう。

★ 地震の揺れを感じたら逃げる

- 避難は、「早く、近くの、高いところへ」が基本
- 海岸や河口付近を見に行かない
- 周囲の方にも声をかけて一緒に避難



★ 大したことない、大丈夫と油断しない

- 津波警報・注意報が発表されている間は避難を続けよう!
- 遠地地震で、揺れを感じなくても大きな津波の可能性あり!



津波に関する警報が発表された際はすぐに避難してください!!